

# PBS推進準備チェックリスト

## 解説スライド

学校全体で取り組むための8つのステップ

### 項目2：定期的な打ち合わせ



Item 02

#### チームでの進捗確認

立ち話ではなく、時間を決めて集まることが大切です。

- ✓ PBS実践者は、定期的（月に1回程度）に実行状況について、PBS担当者と打ち合わせをしている
- ✓ （学年会や校務分掌の会議の一部としてなどでも可。時間は問わない）

### 項目1：組織づくり

Item 01

#### 校内組織の構成

一人ではなく、チームで動く体制をつくりましょう。

- ✓ 管理職とPBS主担当を含むPBSの校務分掌もしくは校内組織が構成されている
- ✓ （既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい）



### 項目3：PBS実践の周知

Item 03

#### 全教員への共有

実践している内容を、学校全体に広げていきましょう。

- ✓ 望ましい行動は何かを教えること
  - ✓ 望ましい行動を引き出すための工夫をすること
  - ✓ 望ましい行動を承認・称賛すること
- これらが、学校・園全体の教員に周知されている



## 項目4：データの活用



Item 04

### 記録とフィードバック

感覚だけでなく、客観的なデータをもとに振り返ります。

- ✓ PBSの実践に関して、何らかの記録やデータを取る
- ✓ それを定期的に教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用したりしている

## 項目5：PBS研修の実施

Item 05

### 学びの場の設定

短時間でも構いません。全員が学ぶ機会をつくります。

- ✓ 全ての教員が参加するPBSの実践に取り組むための研修が計画もしくは実施されている
- ✓ (年に1回以上、15分程度のミニ研修も含む)



## 項目6：管理職の理解



Item 06

### PBSセミナーへの参加

専門的な知見を取り入れることに、学校として前向きであること。

- ✓ 管理職は、総合教育センターが主催する「PBS/パワーアップセミナー」について知っている
- ✓ PBS担当者を派遣することに賛同している

## 項目7：長期的な視点

Item 07

### 長期的な計画

PBSを文化として定着させるには、時間がかかります。

- ✓ 管理職は、PBSの取組がSWPBS（スクールワイドPBS）へと浸透するには数年間かかることを踏まえている
- ✓ 単年度ではなく継続的に取り組もうとしている



## 項目 8：教員の賛同



Item 08

### 学校全体のムーブメントへ

多くの教員が関わることで、学校の雰囲気が変わります。

- ✓ 管理職を含めた教員のうち、70%ほどの教員が、  
PBSに取り組んでいる

※70%以上の参加が、学校全体の文化を変える目安と言われています。